

日本の考古学徒が見た 「ブルガリアの大地」展

デヤドヴォ/ДЯДОВО

“おじいさんの村”で古代のミラを掘った

会期：2018/4/13(金)－7/31(火)

会場：岩瀬石彫展覽館 309-1343 茨城県桜川市亀岡 741

TEL0296-75-1550 Fax0296-71-7670

入館料：無料

内容：発掘現場の写真と解説

デヤドヴォ遺跡紹介 DVD の上映

講演会 * 土井義行学芸員 5/27(日) Pm2:00～

* ブルガリア大使館文化担当官 イリヤナ・コストヴァ氏
7/16(月 祭日) Pm2:00～

主催：岩瀬石彫展覽館

後援：ブルガリア大使館

桜川市

桜川市教育委員会

東海大学トラキア発掘調査団



ブルガリア共和国大使館の全面協力

С подкрепата на посолството на Република България - Токио

Rock Museum

ブルガリア共和国と岩瀬石彫展覽館・支援者との友好交流。

館の内外にブルガリアの現代彫刻家と浅賀正治の彫刻が展示されています。ブルガリアの自然と歴史と人柄がしのばれる交流活動の軌跡です。今回の講演の後には親しみ溢れる交流会も予定しています。

早春のデヤドヴォ～南より遺丘を望む～

～大型カマドの調査～



～デヤドヴォ村全景～



～夕闇迫る発掘調査～

1997年夏……日本から乗り継ぎも含めて、空路 17 時間。

初めて降り立ったブルガリアの大地は、

麦の刈り入れが済んだ畑と、

種の乾燥のために立ち枯れたヒマワリ畑が、

視界いっぱいに広がる“茶色の大地”だった。

それから 21 年、ブルガリアへの旅は発掘調査で 11 回、

結婚式に招かれること 2 回、

友人の子の洗礼式の立会人で 1 回の合計 14 回に及んだ。

物好きと変人の代名詞である考古学徒が見た、

遺跡と文化、バラの花と食べ物、

そして、愛すべき“火酒”ラキアに彩られた、

ブルガリアの大地を紹介しよう。



土井義行学芸員

- 1960 年 4 月生まれ
- 茨城県常総市水海道地区出身
- 東海大学文学部史学科考古学課程卒業
- 日本考古学協会会員
- 茨城県常総市教育委員会勤務
- 日本各地の遺跡とブルガリア共和国テル・デャドヴォ遺跡を発掘調査
- 「デャドヴォ遺跡(ブルガリア)第 1 2 次発掘調査報告書」1999 ほかを執筆



住居址の写真撮影



日本隊の作業風景



岩瀬石彫展覧館

1992 年 茨城県の旧岩瀬町の石材産地、石材産業地に開館した。石文化を発信するという使命を胸に、地域の産業への協力・人々との交流を広げてまいりました。石の文化を発信するという使命を胸に、地域の産業への協力・人々との交流を広げています。私達は その刻まれたものを平和への願いとして解釈して新しい文化を創造しています。館の収蔵品はほとんどが地元の石を使って創造されたものです。その中のブルガリア共和国の現代彫刻家たちの作品もここで地元の石を使って完成されました。それは私ども主催の“アーチストインローカルレジデンス”です。10 回開催しました。その他に子供さんから参加できる石彫体験講座・講演会です。友の会もあります。ご一緒に平和活動をしましょう。

<http://www.asahi-net.or.jp/~tq3m-asp/>
<http://son4771s.tsukuba.ch/>
 〒309-1343 茨城県桜川市亀岡 7 4 1
 Email tq3m-asp@asahi-net.or.jp



☎0296-75-1550 fax0296-71-7670